

平成 20 年 3 月 31 日

平成 19 年度 地域 ICT 利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名 沖縄県伊江村

代表団体名

事業名称 “情報・人・産業” が織りなす癒しと安心の民泊交流モデル

=民泊事業の活用と地域コミュニティを中心とした観光促進及び高齢者の安心安全を確保する=

1. 事業実施概要

公共事業により、豊かさをもたらしてきた本村は、1990 年代後半から、公共事業が減少に転じ、本村では、年を追うごとに失業する者や出稼ぎで島を出て行く者が相次ぎ、完全失業率が県内トップクラスとなった。また、過疎地域特有の少子高齢化については、本村でも例外ではなく、2000 年代に入って、少子高齢化率が急速に上昇しているのが現状である。そのような状況下で、平成 15 年度から伊江村観光協会が修学旅行生を対象に取り組んでいる短期滞在型の民家体験泊事業（以下「民泊事業」という。）が脚光を浴び、平成 18 年度地域づくり総務大臣賞を受賞するなど、本村にも明るい兆しが見え始めている。

この民泊事業を活用し、本村の課題解決に取り組んだ。

- ① 民泊事業を利用する修学旅行生の予約数は、2 万人を超えているものの、観光協会の管理体制は、紙ベースとなっており、電子化されていない。そこで、基幹系システムとして、民泊事業支援システムを構築し、予約管理や実績管理を行うほか、修学旅行生や保護者及び、受入民家が安心できるなど、スムーズな運用とサービスの向上を図った。
- ② 情報系システムとして、伊江村コミュニティプラットフォームを構築し、加入対象者の多くは、伊江村に訪れる修学旅行生で、受入民家を中心としたコミュニティを形成する。伊江村と他地域との交流の輪を広げると共に、伊江村への I ターンや J ターンの可能性の拡大を図った。
- ③ 基幹業務系システムと情報系システムを結んだ連携システムにより、業務の効率化を図れるほか、受入民家や修学旅行生の安心安全を確保したサービスを提供する。また、既存システムである地域イントラネット回線を活用し、VPN を構築した上で、受入民家とオンライン接続を行った。
- ④ 現状の民泊事業について、修学旅行生やその家族又は先生、さらには受入民家に対し、不満な点や改良すべき点、継続してほしい点など、意向調査を実施した。また、この結果を集計／分析し、基幹業務系及び情報系のシステムに反映させた。

⑤ 伊江村の福祉の現状と将来のあり方に関して、意向調査を実施し、その意向内容にそったシステムの概要設計書を作成した。【調査報告書】参照
メッシュネットワークを単独費用にて構築し、民泊受入民家の協力による実証実験を実施した。

2. 目標の進捗状況

指 標	目標値	結果の 数値	達成状況	計測方法・出展等
雇 用 増	3名	4名	○	雇用証明
企 業 誘 致	1社	1社	○	役場への登録

3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

<委託業務説明書>

公共事業により、豊かさをもたらしてきた本村は、1990年代後半から、公共事業が減少に転じ、本村では、年を追うごとに失業する者や出稼ぎで島を出て行く者が相次ぎ、完全失業率が県内トップクラスとなった。また、過疎地域特有の少子高齢化については、本村でも例外ではなく、2000年代に入って、少子高齢化率が急速に上昇しているのが現状である。

事業計画時の課題：

1. 少子高齢化及び人口の減少（過疎化）
2. 若年層の失業率が県内トップ（雇用機会の創出）
3. 産業振興（新産業の創出）
4. 高齢者福祉の拡充

○解決方策

伊江村では、専門的にコンピュータの操作を指導するコンピュータ教室や、村内の企業のシステム管理及びネットワーク管理など、伊江村での ICT 関連企業の必要性を説いてきたが、なかなか起業する者は現れなかった。

しかし、伊江村が無線アイランド構想を掲げ取り組んでいる超高速衛星インターネットや FWA など、技術革新により無線が実用化レベルに達してきたこと。今回の事業にて、伊江村コミュニティプラットフォームが構築され、民泊民家はもちろんのこと、村民の加入が期待できることから、村内の ICT 人口が拡大する可能性がある。などを鑑み、19年10月、伊江村に ICT 企業「イーコム」が誕生した。

さらに、イーコムでは、4人の若者を雇用しており、課題2及び3の解決の一端を担っている。今後、イーコムが村内の地域支援センター的存在となり、雇用も拡大可能となれ

ば、若者に人気のあるICT企業ということで、Uターン・Iターン・Jターンの可能性も期待できる。

また、長期的な視点で見ると、若年者が増加すれば、必然的に結婚・出産という流れができ、課題1の解決にも繋がると言える。

●事業実施において明らかとなった課題

①メッシュネットの必要性

今回、単独費用にてメッシュネットを構築し、4軒の民泊受入民家の参加による実証実験を行った。

実証実験に参加した民泊受入民家へ意向調査を行ったところ、「思った以上に便利でした。」「特に収支決済システムでの税申告の部分が、簡単に利用できるのがよかった。」という回答があった。

この機能は、セキュリティを保つため、インターネットからはアクセスできない機能であり、今回、メッシュネットで接続を行った民家のみが利用できるシステムである。

このことから、事業の効果を最大限に発揮するためには、メッシュネットの構築が必要である。

②高齢者サービスの必要性

高齢者福祉サービスの重要性及び将来あるべき姿に関し、伊江村役場企画総務課・住民福祉課・環境保健課・伊江村社会福祉協議会・伊江村老人クラブ連合会・ケアマネージャ連絡会など、村内高齢者対策を担っている主要機関に対し調査を実施した。

現状の福祉サービスに対し、必要なサービスを洗い出し、官民の役割分担を設定する必要があることなどを確認したが、実際にどこで線引きをすべきかについては、今後の課題である。

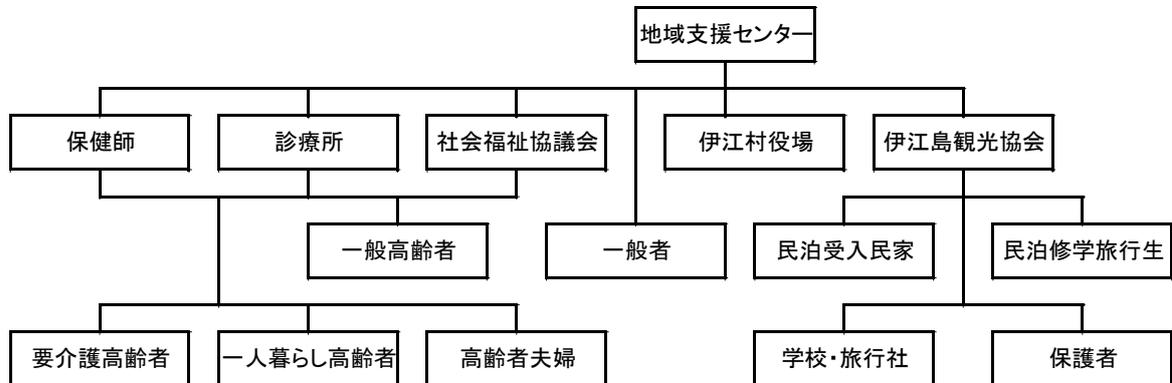
本年度事業において、調査を元に概要設計を行ったが、次年度は、プロトタイプを構築し、試験サービスを行いながら検証すると共に、高齢者やその家族などから、サービスの利便性などについてデータを収集し、実用化に向けた取り組みが必要である。

2. 自立的・継続的運営の見込み

自立的・継続的運営が可能な地域支援センターの設立を目指す。

構築したSNSは、しっかり管理運用しないと、寂れてしまうことから、更新作業を行う専門的人材が、必要となる。特に、民泊参加の修学旅行生の加入は、1年で2万人、50%と仮定しても1万人が登録することになる。よって、継続的な運営をするため、次のような運営体制を確立する。

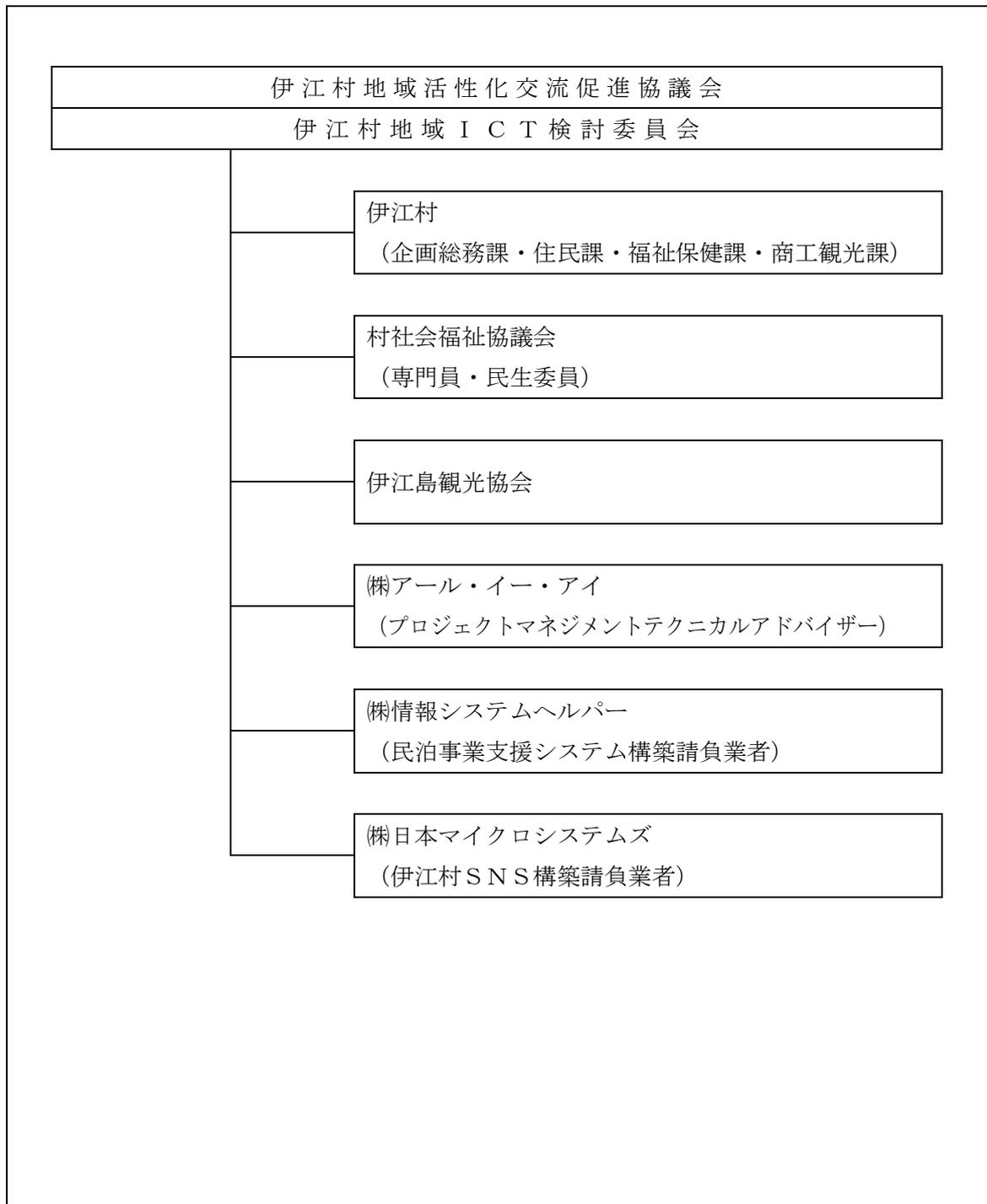
継続的な運営体制



地域支援センターの業務内容：

1. 村内インターネット利用者の支援業務
住民参画の方策として、村広報誌及び防災行政無線等で呼びかけるほか、ICT教室を開催し、ICTのスキルアップを図ると共に、親切丁寧なアフターフォローをすることで住民の積極的な参加を喚起する。
コンピュータ販売から指導・修理業務まで住民密着型のサービスを展開する。
2. 村内事業所のシステムやネットワークの保守管理業務
伊江村役場やJA伊江支店・伊江島観光協会・伊江漁協・建設業者などのシステム保守管理業務を実施する。
3. 伊江村コミュニティプラットフォームの運営および保守管理
伊江村コミュニティプラットフォームのメンバーを増やすと共に、村内のコミュニティ形成者を育成し、伊江村ファンの拡大を図る。
企業の広告を誘致する。
伊江村コミュニティプラットフォームの更新作業の選任を雇用する。
4. 基幹系及び情報系システムの活用者拡大
民泊受入民家のインターネットの利用者育成を行う。
インターネット環境を提供し、ISPとして活動する。
5. 高齢者支援システムの構築、管理運営
介護・福祉の識見を持った者を雇用する。
元気で会話上手な高齢者を雇用する。

<実施体制説明書>



2 各主体の役割

NO	名 称	役 割
1	伊江村地域活性化交流促進協議会	本プロジェクトの最終決定機関である。
2	伊江村地域 I C T 検討委員会	本プロジェクトの方向性や妥当性を検証し、システム構築のアドバイスを行う機関である。
3	伊 江 村 役 場	企画総務課・環境保健課・住民福祉課と横の連携を図り、その担当及び保健師からの意見を本プロジェクトの基盤として提案する。
4	伊 江 島 観 光 協 会	民泊事業の推進者、システム構築のアドバイス、交流・長期滞在型への拡充構想の推進を図る。
5	伊 江 村 社 会 福 祉 協 議 会	高齢者支援システム構築のアドバイスを行う。 地域支援センターと連携し、高齢者福祉の向上を図る。
6	(株)アール・イー・アイ	プロジェクトマネジメント、地域支援センターの運営等を行う。 システムの企画設計・保守管理・報告書作成。
7	(株)情報システムヘルパー	アプリケーションシステムの開発及び現地工事を行う。(民泊事業支援システム)
8	(株)日本マイクロシステムズ	アプリケーションソフト開発及び現地工事を行う。(伊江村SNS)

事業実施進行表

実施内容	11月	12月	H20 1月	2月	3月
伊江村地域活性化交流促進協議会開催		▲			▲
地域 ICT 検討委員会開催		▲		▲	▲
連絡会議開催	▲	▲	▲	▲	▲
システム構成の検討・決定	➡				
3社見積による業者選定	➡				
システム設計	➡				
システム稼働					➡
報告書作成				➡	

その他

<http://imensyori.net/> [伊江村SNS (いめんしょり)]